

2021年 10月 7日

北杜の自然を舞台に、ピカソから建築、映画、バイオアート、
グラフィティアートまで、未来のカタチを提案。
時代もジャンルも超えて、アーティストが交差しアートとは何かを問う。

HOKUTO ART PROGRAM ed.1

- 未来から見た過去 -

10月30日-12月12日開催

10月30日(土) - 12月12日(日)の期間、公益財団法人 清春芸術村、中村キース・ヘリング
美術館、公益財団法人 平山郁夫シルクロード美術館、女神の森 セントラルガーデン、身
曾岐神社において開催される「HOKUTO ART PROGRAM ed.1」、この度第二弾として、
各会場のコンセプト、参加アーティストのコンセプト（10月7日時点）を発表します。

●清春芸術村・庭園

自由が奪われている世の中、住むところも働く場所も自由に選択できる時代が来る。
世界的に注目を集める建築家が、新たなカタチのテントの提案をする。

重松象平 / 島田陽 / 谷尻誠 / 永山祐子 / 長谷川豪 / 藤村龍至

●安藤忠雄 光の美術館

テクノロジー・バイオ・サイエンスアート、この4人を見れば、今が分かる。

田所淳 / 長谷川愛 / 藤元翔平 / HUMAN AWESOME ERROR

●谷口吉生 ルオー礼拝堂

世界的映画監督であり東京オリンピック公式映画総監督が捉える、一瞬が存在する奇跡。

河瀬直美

●谷口吉生 清春白樺美術館

人生で最もすばらしい癒し、それが愛なのだ

パブロ・ピカソ / デヴィッド・ダグラス・ダンカン

●白樺図書館

デザインとアートの境界線を問う、インスタレーション。

長場雄

他

「HOKUTO ART PROGRAM ed.1」 - 未来から見た過去 - について

HOKUTO ART PROGRAM ed.1では、自然を活かした持続可能性、アートとは何かという問いをテーマに、アート、建築、映画、音楽、伝統文化、パフォーマンスアーツなど多様なジャンルのアーティスト・クリエイターが参加します。

清春芸術村の広大な庭園内には、国内外で活躍する建築家たちの提案によるモバイルスペースを点在させ、安藤忠雄の光の美術館、藤森照信による茶室徹、谷口吉生のルオー礼拝堂・清春白樺美術館、白樺図書館を会場に、新たな表現や作品を発表します。

中村キース・ヘリング美術館、公益財団法人 平山郁夫シルクロード美術館、女神の森セントラルガーデン、身曾岐神社など、北杜市内の複数の会場でグラフィティアートやライブパフォーマンスが展開されます。

参加予定アーティスト

会場1 [清春芸術村]

河瀬直美 / 重松象平 / 島田陽 / 田所淳 / 谷尻誠 / デヴィッド・ダグラス・ダンカン / 長場雄 / 永山祐子 / 長谷川愛 / 長谷川豪 / 藤元翔平 / 藤村龍至 / 山田宗徧 / HUMAN AWESOME ERROR / 他

会場2 : [中村キース・ヘリング美術館]

脇田玲 / SIDE CORE

※10月7日時点。今後随時発表してまいります。

総合ディレクター

吉井仁実

〔清春芸術村〕 出展アーティスト

清春芸術村庭園

自由が奪われている世の中。
ダブルハウス・リモートワークが推奨される中、
住むところも働く場所も自由に選択できる時代が来る。
世界的に注目を集める建築家が、新たなカタチのテントの提案をする。

永山祐子

建築家。代表作に〈豊島横尾館〉〈ドバイ国際博覧会日本館〉など。武蔵野美術大学客員教授。



3Dスキャンデータ：ARCHI HATCHI

森の中に佇んで周りを見あげる体験、そんな体験を切り取ったようなテントを考えた。白樺林の中に置かれた3つの雫型の透明テント。木の位置など周囲環境を3Dスキャンして枝の向きや葉の広がりなども考慮しながらテントの大きさ、高さ、位置を決めていった。起き上がり小法師のように様々な方角を向くテント、その表面に周囲の緑が映る。

長谷川豪

建築家。ハーバード大学デザイン大学院客員教授、カリフォルニア大学ロサンゼルス校客員教授等を歴任。



©Go Hasegawa and Associates

アウトドア用のテントは自然豊かな場所に設営するものであるにも関わらず内部は閉鎖的で自然との関わりが薄いため、大地と近いテントならでは人間と自然の関係について考えた。気に入った草花を見つけたら、それをそっと包み込むように透明の柱を立ててテントを張る。そこにあった自然と一晩だけ一緒に過ごすことができる、大地を切り取るテント。

谷尻誠

建築家・起業家。自然と建築の在り方の提案を軸にさまざまな事業と設計をブリッジさせて活動。



この作品は「モバイル」という言葉を「可逆性」と「簡易性」という2つのキーワードから再解釈し、自然の中で循環する建築である。建築の構成は大地を構成させる「石」を使用している。自然の循環の中で、大地が隆起するかのようにして構築され土地に根付き、風化するかのようには解体され自然に還っていく。ここでは、大地を最大限感じる体験としてサウナの機能を入れ込み空間体験を行う。

重松象平

建築家。建築設計集団OMAのパートナーおよびニューヨーク事務所代表。九州大学大学院人間環境学
研究院教授、BeCATセンター長。

島田陽

建築家。タトアーキテクト代表。京都市立芸術大学准教授、京都芸術大学客員教授。

藤村龍至

建築家。2005年よりRFA主宰。2016年より東京藝術大学准教授。

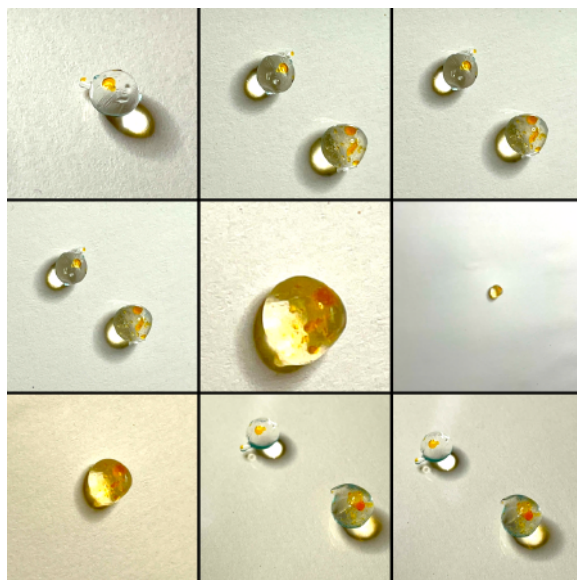
安藤忠雄 光の美術館

テクノロジー・バイオ・サイエンスアート、
この4人を見れば、今が分かる。

HUMAN AWESOME ERROR

自然科学とヒトの認識のエラーの隙間を冒険する工芸家、アーティスト、研究者。

主なメンバー：蔡海・恒良英男・福原志保 他



Light into Sight (Membrane)

《Super Cell》

切りはなしでも生き続ける驚異の細胞、私たちは実際に罹患した癌細胞を指して、Super Cellと名付けた。彼らは、再生医療の可能性だけでなく、生命の所有権と新しい倫理観を人間社会に問いかける。序章として、医療関係者や研究者ではない一市民がSuper Cellを所有し始めるまでのプロセスを伝えていく。

《工藝族車》

人類史上、ヒッタイトが鉄を使い始めて5000年、ダイムラーが最初のオートバイを発明して130年、そんな鉄で作られたエンジンも過去の技術となろうとしている。日本では暴走族が身体拡張の道具として機能を拡張し、様式美を作った。斜陽となった今もなお続く営みを死にかけた工芸技法で刷新したこの機械は、日本人の審美性を暗示する一つ遺跡となるだろう。

田所淳

クリエイティブコーダー。前橋工科大学准教授、東京藝術大学非常勤講師、慶應義塾大学非常勤講師。

長谷川愛

アーティスト。テクノロジーと人が関わる問題にコンセプトを置いた作品を制作。

藤元翔平

メディアアーティスト。世界各国でインスタレーションを展示。

谷口吉生 ルオー礼拝堂

世界的映画監督である河瀬直美による新作の撮り下ろし映像を初公開
「一瞬」が存在する奇跡と「永遠」を問う
ルーツである南の島に宿る「記録」と小さな礼拝堂に刻まれし「時間」のはざままで



©Kumie inc

ずっともっとそれを見つめていたい。

くりかえし、くりかえし、つながって、つづいてゆけばいいのに。

水や風や葉や光や・・・そんなものたちが、今、この瞬間の、美しさを放つ。

そうしてまたやってくる「今」と出逢う。

命はくりかえし、時を刻んで次にゆく。

もう、さっきの「今」は無く、さっきの自分もいない。

河瀬直美

映画作家。東京2020オリンピック公式映画総監督。なら国際映画祭ED。

特別企画展

『人生で最もすばらしい癒し、それが愛なのだ』

パブロ・ピカソ / デヴィッド・ダグラス・ダンカン

展覧会詳細URL : <https://www.kiyoharu-art.com/?p=1287>

清春芸術村 清春白樺美術館

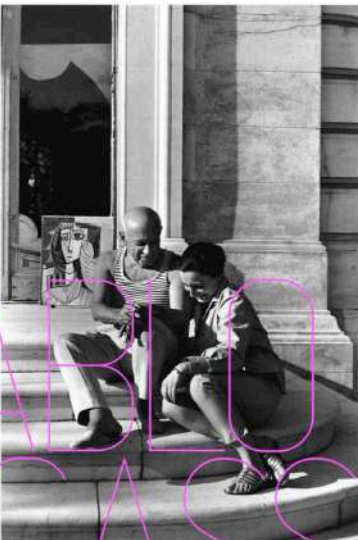
山梨県北杜市清春町 中央2072
Tel. 0551-52-4865

Kiyoharu Art Colony
Kiyoharushirakaba
Museum

3072 Nakamura, Yagamiho-cho
Hakoma-shi, Yamanashi
Tel. +81-551-52-4865

人生で最もすばらしい癒し、それが愛なのだ

パブロ・ピカソ



David Douglas Duncan

2021.8.7 [sat] — 12.12 [sun]

観覧時間 | 10:00—17:00 (入館は16:30まで)
| 入館料 | 一般 1500円 (4000円) | 大滝先生 1000円 (3000円)
| 小学生以下 500円 | (小学生以下は大人同伴) | (小学生以下は大人同伴)

Foundation Yoshii

David Douglas Duncan

David Douglas Duncan

デヴィッド・ダグラス・ダンカン

Foundation Yoshii

2021.8.7 [sat] — 12.12 [sun]

観覧時間 | 10:00—17:00 (入館は16:30まで)
| 入館料 | 一般 1500円 (4000円) | 大滝先生 1000円 (3000円)
| 小学生以下 500円 | (小学生以下は大人同伴) | (小学生以下は大人同伴)

David Douglas Duncan

1916年、アメリカ、カンザス州に生まれる。
第二次世界大戦、戦時中における優れた写真と愛の報告により、「伝記的写真家」として国際的に知られる。
1947年、ピカソの愛を愛する。1972年、ニューヨークの441号一画廊で写真家として初めて個展を開催する。

清春芸術村

ラ・ビュ
清春白樺美術館
光の美術館
ハイパー立方体
美術館
都立三浦アトリエ
白樺屋敷
清春陶芸工房
和心

Kiyoharu Art Colony

La Biu
Kiyoharushirakaba Museum
Museum of the Light
Kiyoharu Chapel
Yamanashi
Kiyoharu Ceramic Studio
Wabi

観覧時間
10:00-17:00
18:00-19:45

休館日
祭日

入館料
一般 1500円 (4000円)
大滝先生 1000円 (3000円)
小学生以下 500円
*小学生以下は大人同伴

清春芸術村 | 清春白樺美術館
Kiyoharu Art Colony
Kiyoharushirakaba Museum

山梨県北杜市清春町中央2072
3072 Nakamura, Yagamiho-cho
Hakoma-shi, Yamanashi
Tel. 0551-52-4865
E-mail: kiyoharu-art@kiyoharu-art.com
127.3100 / www.kiyoharu-art.com
Twitter: @kiyoharuart
Instagram: @kiyoharuart



デザインとアートの境界線を問う、インスタレーション。

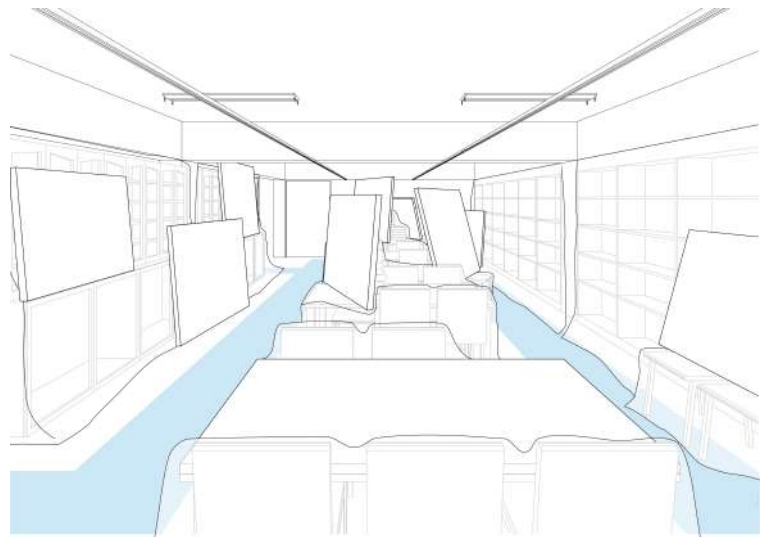
長場雄

イラストレーター、アーティスト。



Photo by Kazuhiro Shiraishi

©Yu Nagaba



主催者側から唯一与えられた「アートの境界線と欠界」という言葉を受けて、長場の二つの肩書きである「イラストレーター（イラストレーション）」と「アーティスト（アート）」の「境界線」に焦点を当て、片方に存在し、片方に存在しないと想定される「搬入」を題材にする。搬入が行われる不安定な空間は、その両者の「間」にある曖昧なボヤけた空間でもあるだろう。

藤森照信 茶室徹

山田宗徧

茶道山田宗徧流不審庵 第11代家元。

[中村キース・ヘリング美術館] 出展アーティスト

脇田玲

アーティスト、計算機科学者。慶應義塾大学環境情報学部教授。

SIDE CORE

アーティストグループ。ストリートカルチャーを切り口に様々なアートプロジェクトを展開。

... and more

会場1：[清春芸術村]

アーティスト：河瀬直美 / 重松象平 / 島田陽 / 田所淳 / 谷尻誠 / デヴィッド・ダグラス・
ダンカン / 長場雄 / 永山祐子 / 長谷川愛 / 長谷川豪 / 藤元翔平 / 藤村龍至
山田宗徧 / HUMAN AWESOME ERROR / 他

会場2：[中村キース・ヘリング美術館]

アーティスト：脇田玲 / SIDE CORE

<開催日程>

[清春芸術村]

2021/10/30(土)～2021/12/12(日) (※清春芸術村 月曜日休館)

OPEN 10:00 / CLOSE 17:00 (入館は16:30までとなります)

[中村キース・ヘリング美術館]

2021/10/16(土)～2022/5/8(日)

OPEN 9:00 / CLOSE 17:00 (入館は16:30までとなります)

※各会場によって、開催日程・実施時間帯・実施イベントが異なりますので、予めご了承ください。
※通常時とイベント開催時で開館時間が異なりますのでご注意ください。イベントの開催・開館時間の変更のお知らせは、HPをご覧ください。

<チケット>

会期中は各会場毎に入場料・入館料をお支払い下さい。イベント開催時には別途チケットが必要となります。イベント開催時のチケットのご購入については、追って発表いたしますので、公式HPをご覧ください。

[清春芸術村]

一般1,500円 | 大・高校生1,000円 | 小・中学生無料 | 障がい者手帳をお持ちの一般の方
1000円 | 障がい者手帳をお持ちの学生の方入場無料 | 付き添いの方 500円

[中村キース・ヘリング美術館]

一般1,500円 | 学生[16歳以上] 600円 | 15歳以下無料 | 障がい者手帳をお持ちの方600円

<会場>

- ・公益財団法人 清春芸術村 ——— 山梨県北杜市長坂町中丸2072
- ・中村キース・ヘリング美術館 ——— 山梨県北杜市小淵沢町10249-7
- ・公益財団法人 平山郁夫シルクロード美術館 ——— 山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6
- ・女神の森 セントラルガーデン ——— 山梨県北杜市小淵沢町1578
- ・身曾岐神社 ——— 山梨県北杜市小淵沢町上笹尾3401

<トークイベント>

随時OFFICIAL WEB SITEにて発表

【OFFICIAL WEB SITE】

<https://www.hokutoartprogram.com>

<音楽イベント>

随時OFFICIAL WEB SITEにて発表

【OFFICIAL WEB SITE】

<https://www.hokutoartprogram.com>

主催：HOKUTO ART PROGRAM実行委員会 / 北杜市 / 公益財団法人 清春芸術村 /
中村キース・ヘリング美術館 / 公益財団法人 平山郁夫シルクロード美術館/
女神の森 セントラルガーデン / 身曾岐神社、他

名称：HOKUTO ART PROGRAM ed.1

ホームページ：<https://www.hokutoartprogram.com/>

主 催 | HOKUTO ART PROGRAM 実行委員会



身 曾 岐 神 社

<本件に関するお問い合わせ先>

HOKUTO ART PROGRAM実行委員会

担当：菅野・最上（メール：kiyoharu-art-colony@royal.ocn.ne.jp）

※ 清春芸術村 庭園でのプロジェクトは「新たなカタチのテント展」として、文化庁「ARTS for the future!」補助対象事業となります。

※ 清春芸術村内での開催はKiyoharu Art Projectとして、文化庁「ウィズコロナに対応した文化資源の高付加価値化促進事業」採択事業となります。